



あいづ

〔発行〕自治労
福島県本部会津総支部

〔所在地〕会津若松市西栄町
7-9 会津労働福祉会館2階

〔連絡先〕
jitirou.aizu@gmail.com
(携帯) 090-3361-8400

紙面学習

シリーズ

42

『組合の活性化』

組合活動は執行部だけで行うものではありません。組合員の皆さんと情報を共有しながら、声を集めて当局に要求し、交渉することが必要です。

▼今回の紙面学習シリーズは、自治労全国町村評議会が毎年発行している「組合員ノート(賃金と権利を知る)」を参考として、活気ある組合をつくるためにはどうしたらよいか?と一緒に考えていく内容としたいと思います。なお、「組合員ノート」は、県本部HPに掲載しています。左のQRコードから参照いただけます(ID・PWを入力して、ご覧ください)。

■1・はじめに…
交渉力のある組合は、その要求を

現でき、その結果、ますます組合員の団結が強くなるので、運動が前進し、さらに要求を実現できることとなります。

【私見】自分の経験上、独自賃金カット反対等の大きな闘争があると、組合員の団結は強化されます。勿論、書記長等の交渉力や、企画力が重要となります。

■2・団結の基礎は職場、組合員にあります。

常に職場の課題、組合員の困りごとや要求に意識を向け、これをキャッチできるような活動に努めます。職場単位での懇談会や相談会、アンケートなどで、職場のコミュニケーションをよくし、組合執行部に情報が伝わる仕組みを作ります。

【私見】特に、春闘・秋闘独自要求書作成時の組合員アンケート(1人1要求)の取り組みや、執行部が入ったの

当面の日程

- 1月23日(金)
18:00~会津若松市職団結赤旗開き(若松ワシントン)
- 1月24日(土)
13:30~会津坂下町職春闘討論集会(坂下給食セ)
- 1月30日(金)
18:00~会津地区県職連合旗開き(中の島)

職場座談会(昼食を食べながら気軽に懇談)などは、とても重要だと思えます。

■3・運動のプロセス(経過)を大事にしよう。

運動の結果(成果)はもちろん大切ですが、運動のプロセス(経過)を重視しましょう。「何を要求するか」の前に、要求を組合員どうしの意見交換、討論の中から作りあげることが大切です。要求の決定に当たっては職場集会などで討議し、決まった要求を組合員に伝え、交渉の経過を開示し、妥結に先立って職場集会などで説明して合意形成を図ることが不可欠です。要求に比較して仮に結果が不十分であっても、それが頑張った結果であれば、組合員の納得は得られ、団結は強

【図表1】組合員ノートQRコード
(pdfファイルです)



ID : jichiro PW : fukushima9999

まります。

【私見】特に、取り組み(闘争)のポイントポイントで、機関紙(チラシ)等を使って、組合員と情報共有することはとても重要です。「執行部が何をやっているのか、さっぱり分からない」という状況を作ってはいけません。組合活動で「機関紙(チラシ)等発行」は必須だと思います。

■4・効率的な運動サイクルを確立しよう。

一部の役員だけの献身的な努力で維持する運動は、長く続けることは難しいものです。誰もが忙しい仕事と私生活の合間に組合活動を行うため、会議の定例化、会議時間を短縮する、報告・提案を簡潔にするなど、効率的な運営を考え、皆で守るようにします。

【私見】「運動サイクル」に関して、「秋闘と春闘」は、自治労単組の大きなサイクルになります。昔は、ここに人員確保闘争等(現在は、通年闘争となり、ぼやけてしまっています)がありました。「秋闘と春闘」ですが、総支部内でも、どちらか一方のみ取り組んでいる単

組があります。単組独自の歴史・経過があつたのと思いますが、例えば、秋闘で独自要求書を提出して交渉を行い、勝ち取れなかった課題(積み残し課題)については、(新たな課題を付加したうえで)改めて春闘で要求し、交渉を行う:これが本来の(闘争)サイクルだと思えます。

■5・組合員への情報伝達を重視しよう。

組合の動きを迅速に組合員に伝えることはとても重要です。伝統的な機関紙(組合ニュース)の発行、SNSなど新しい技術を駆使した情報発信に努めます。

【私見】機関紙等については、「3・」で記載したとおりです。SNSの活用でいえば、FBやLINE等の活用が考えられますが、総支部HP内にも「単組WEB」を設けています。現在、喜多方市職労が活用していますが、機関紙や大会資料等を掲載し、組合員の皆さんがスマホ等で閲覧できるようにしています。他の単組でも、ぜひご検討ください。(宣伝でした。笑)

■6・他単組の優れた運動に学ぶ。

自治労に加盟する県内外の単組の動きに注目し、優れた運動に学ぶことが重要です。自治労の県本部、本部にはこうした情報が豊富にあります。自治労のネットワークを活用して、自分の組合の力を高めるヒントを集めましょう。

【私見】(自分が総支部事務局長や県本部書記次長の時に)単組の取り組みで一番感心したのは、会津坂下町職労の春闘討論集会でした。現在も同様の取り組みがなされていると思いますが、まず①基調講演②講演テーマ等に基づく分散会③班ごとに発表④まとめ、というような流れで行われていました。県本部や総支部の春闘討論集会と同じような構成で、単組の集会が開催されていることに、とても驚いた記憶があります。

ぜひ、今後の総支部の集会等において、各単組の特徴的な取り組みが共有できればいいなと思います。



編集後記



○1月1日号の新春お年玉クロスワードパズルの応募期限は来週22日(木)です。皆さん、お忘れなく。総支部長賞・副総支部長賞の計5本の当選者は、次号(2月1日発行)機関紙で発表させていただきます。どうぞお楽しみに!

○今月31日(土)は、お待ちかね?の総支部春闘討論集会が「御宿東鳳」において開催されます。終了後の団結赤旗開きでは、恒例のお楽しみ抽選会があります!こちらもお楽しみですね。(坂内)

機関紙

総支部機関紙のバックナンバーは、こちらから。



総支部 HP

会津総支部ホームページのトップページです。

